

人形で墜落災害実演

安全帯の正しい使い方、掛け方を作業者に理解してもらいたい。
手摺りの正しい固縛の仕方を足場作業者に理解してもらいたい。という願いから、75kgの人形を使って墜落実演を行い、安全帯の点検の必要性、掛ける位置の重要性、手摺の固縛方法、手摺用支柱の間隔の重要性を人形が墜落する姿を見て実感してもらう。

■古く傷んだ安全帯を腰の位置に掛けて高さ約4mから墜落した時の実演。

- ①腰の高さに安全帯を掛ける
- ②墜落開始
- ③体重が掛ったとき安全帯が切れた
- ④下段の作業床に激突
- ⑤地上に墜落

安全帯は「命のロープである」見て安心「させて安心」の高所作業

安全帯をとる位置と衝撃荷重 (体重 75kg の人の場合)	安全帯をとる位置と衝撃荷重 (体重 75kg の人の場合)	安全帯をとる位置と衝撃荷重 (体重 75kg の人の場合)
肩の上 落下高さ 750mm 落下衝撃荷重 510kg	腰の高さ 落下高さ 1,500mm 腰の高さ 1,500 落下衝撃荷重 730kg	足元の下 落下高さ 2,250mm 落下衝撃荷重 940kg



■安全帯を掛けずに高さ約4mから墜落した時の実演。

①安全帯を掛けていない



②墜落開始



③約1.7m下段の作業床に激突



④下段の作業床からも更に墜落



⑤地上に墜落